



じゃがいもずきん
「ききぼう」くん

雪国ならではの悩みの季節、恐怖の雪かき、そして、とても恐ろしい暴風雪の季節がやってきました。北海道では、暴風雪災害が繰り返し発生しています。

中標津町では、2013（平成25）年3月の暴風雪で、死者5人を出しました。

暴風雪とは、風速が毎秒18mを超える風を交えた猛吹雪のことです。暴風雪は、視界不良（ホワイアウト、すぐ目の前が見えなくなる状態）によって方向感覚を奪い、歩きでも、車でも、自分の位置が分からなくなってしまうことがあります。そして、遭難…。また、暴風雪に随伴する立ち往生や停電などの発生時は、間違ったことや横着で、一酸化炭素中毒や低体温症、エコノミークラス症候群などを引き起こし、最悪の場合は、命を落としかねないとても恐ろしいものです。

暴風雪をあなどってはいけません。正しい知識を持ち、暴風雪に備え、あなたの命を守りましょう。

**暴風雪の最中はもちろん、暴風雪が予想されている時には、無理な外出は避けましょう！
 厳重な警戒が必要です！建物の中から出ない事をオススメします。**

暴風雪による被害は、晴天から悪天へと天気が急変した時に、特に多く発生します。

テレビやラジオなどで悪天が予想されることを知ったら、今の天気が良くても油断してはいけません。最新の気象情報や道路情報などを、しっかり確認しましょう。

また、暴風雪が予想されている時には、無理をせず、外出を避けましょう。



日頃から、暴風雪に備えましょう！

- 懐中電灯や携帯ラジオ、防寒着、カセットコンロ、ガスボンベ、ポータブルストーブ、灯油、非常食、飲料水などを準備しておきましょう。
- 発電機や蓄電池を、準備しておきましょう。

※発電機は、屋内で使用してはいけません。

また、玄関などの出入り口付近での使用も禁止です。

- FF式暖房機等を使用している場合は、吸排気口付近が雪でふさがれないよう注意しましょう。
- 車で外出する際には、天気の急変により車が立ち往生することを想定して、燃料が十分ある事を確認してから出発しましょう。また、防寒着、長靴、手袋、カイロ、携帯電話、充電器、非常食、飲料水、簡易トイレ、スコップ、けん引ロープなどを車に積んでおきましょう。

